

中京地区での技術研究所46年

当研究所は昭和29年に愛知県名古屋市で、技術研究所の前身である自転車生産技術開放研究室として開設され、昭和39年より財団法人自転車産業振興協会による運営となり、平成に入り東京支所、大阪支所、本所を整理統合しつつ、ここ犬山市において46年間、事業を進めてまいりました。この間、業界との連携は勿論、地元への還元にも心がけ、テストコースを利用した「技研サイクルミーティング」を開催したり、地元中京地区車いす業界の付託を受けて、新たに試験評価機能の役割を果たすなど様々な貢献をして参りました。

ご案内のように、平成13年4月より自転車企業の集中する大阪府堺市に研究所を移転をすることになりましたが、昭和29年よりこの中京地区でお世話になりましたことを振りかえり、新たな役割を果たしていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

関東、関西地区での今までのご愛顧も無論のこと、愛知県犬山市近隣の名古屋市はじめ愛知県内の各企業、団体等には、この地区ならではの格別のご愛顧を賜りましたことに対し、ここに厚くお礼申し上げます。

沿 革

昭和29年 自転車競技法に基づく委託事業として「自転車生産技術開放研究室」を社団法人日本自転車工業会によって通産省工業技術院名古屋工業試験所（名古屋市北区）内に開設、東京都立工業奨励館内に「東京分室」 大阪府立工業奨励館内に「大阪分室」を開設。

昭和33年 自転車生産技術開放研究室を継承し、「財団法人自転車技術研究所」を設立。東京分室、大阪分室を「東京指導所」、「大阪指導所」に改称。

昭和39年 財団法人日本自転車産業協会と合併統合し、「財団法人自転車産業振興協会」を設立し「財団法人自転車産業振興協会自転車技術研究所」として事業所運営となる。

昭和43年 同研究所、愛知県犬山市へ新設移転。

昭和46年 「財団法人自転車産業振興協会技術研究所」に改称するとともに、「東京指導所」、「大阪指導所」を「東京支所」、「大阪支所」に改称。

平成 6年 東京支所を閉鎖し、2事業所運営となる。

平成 8年 大阪支所を本所に統合。

平成13年 「財団法人自転車産業振興協会技術研究所」を大阪府堺市に移転。（13年4月）



昭和34年頃の自転車技術研究所（愛知県名古屋市）



現在の技術研究所（愛知県犬山市）